

南阿蘇村 復興むらづくり だより



役場 復興推進課
TEL(67) 1113

被災宅地復旧支援事業の申請受付をはじめました！

のり面、擁壁、地盤の復旧、住宅基礎の傾斜修復工事など被害を受けた宅地の復旧に要する費用の一部を補助する事業（平成28年熊本地震復興基金を活用）の申請受付を開始しました。

すでに宅地の復旧工事が終わった人も対象になる場合があります。

■対象となる宅地

平成28年熊本地震の発生時に住宅の用に供されていた宅地

■補助額

工事に要した額から50万円控除した額に3分の2を乗じた額（補助額の上限額633万3千円）

■申請窓口

- ・ 役場 1階⑪復興推進課窓口
- ・ 大津町役場南阿蘇村職員駐在所
（月・木曜日午前9時～午後4時）

〈問い合わせ〉

復興推進課住まい対策係

TEL(67) 1113

仮設店舗

元気に営業中です！

昨年の熊本地震で被害を受け、営業ができなくなった村内の事業所が入る仮設店舗が、道の駅あそ望の郷くぎの駐車場内、長陽運動公園内で4月末、本格的にオープンしました。雑貨、美容室、カフェ、レストランなど全13店舗が軒を連ね、営業を再開されています。



復興マーケット「桜咲（さくさく）」
（道の駅あそ望の郷くぎの）8店舗



復興マーケット「ブルー・ビー」
（長陽運動公園）5店舗

南阿蘇鉄道再生協議会だより

【第2回南阿蘇鉄道再生協議会の開催】

南阿蘇鉄道の全線復旧に向け、県と地元自治体、同社で構成される南阿蘇鉄道再生協議会が6月2日、県庁で開催されました。第2回目となる会議では、国への要望や検討課題について議論。国への支援要望として、鉄道の災害復旧費に係る国庫補助率のかさ上げ、自治体負担分の地方財政措置の最小化を求める考えで一致しました。

今回の内容を踏まえ、6月6日に協議会会長の田嶋副知事、吉良村長、草村高森町長が国土交通省へ要望書を提出し、更なる支援要望を行いました。

【南阿蘇鉄道の全線復旧を支援】

南阿蘇白川水源駅構内で営業中の「駅Cafe倶利伽羅」の伊藤幸蔵さん（白川）が、「駅弁の売り上げの一部を南阿蘇鉄道に寄付されました。」

この「駅弁は、南阿蘇鉄道復興支援プロジェクトの一環として、お笑いトリオ、ロボットの馬場さんと村の皆さんで考案したオリジナルで、南阿蘇のあか牛や高菜、米を使用した「たっぷり赤牛 牛めし弁当」として、土・日・祝日のみ同駅で限定販売されています。

寄付された伊藤さんは、「一日も早い南阿蘇鉄道の復興を願っています。今後も駅弁の売り上げの一部を寄付し、支援を続けていきます」と義援金を渡され、同鉄道代表取締役社長の草村高森町長は、「一日も早い全線復旧を成し遂げるために大事に使わせていただきます」とお礼を述べました。

